

- ◆ 青函地域では、津軽海峡を隔てながらも古くから人や物の交流が続けられてきたが、平成28年3月の北海道新幹線開業を機に、地域間交流の拡大、入込観光客の増加、企業誘致など、様々な面で期待が高まっている。
- ◆ このような中、青函地域を所管する北海道財務局、函館財務事務所、東北財務局、青森財務事務所が連携し、同地域の地方公共団体や経済団体、地域金融機関などが一堂に会する「青函地域経済活性化フォーラム」を開催(27年11月13日)。
- ◆ 新幹線開業を契機とした地域経済活性化に向けた取組や課題認識について情報共有を図り、関係者間による協力関係の深化に寄与。
- ◆ 第2回目を28年5月に青森市で開催予定。今後も当局は、青函地域関係者の協力関係の一層の進展のため、当取組を継続的に実施していく。

1. 成果事例の概要等



■ 青函地域経済活性化フォーラム

- 開催日 : 平成27年11月13日
- 会場 : 函館地方合同庁舎 大会議室
- 参加機関: 地方公共団体(5機関)、
経済団体(4機関)、金融機関(10団体)

函館市、木古内町、北海道、青森市、青森県、函館商工会議所、青森商工会議所、北海道商工会連合会、青森県商工会連合会、北海道銀行、北洋銀行、函館信用金庫、渡島信用金庫、江差信用金庫、函館商工信用組合、青森銀行、みちのく銀行、日本政策投資銀行、日本政策金融公庫

■ 議事概要

当局

新幹線開業と地域経済の動向、道南観光の特徴、新幹線開業に関する地元企業へのヒアリング結果などについて報告。

日本政策投資銀行

既存の地域単位を超えた広域連携「日本型DMO」の形成による観光地域づくりなどについて提言。

各機関

新幹線開業に向けた具体的な取組や、青函両地域間の連携に関する取組、今後の課題などについて報告。



函館山風景(函館国際観光コンベンション協会HPより)



2. これまでの取組の成果等

- 当フォーラムの開催により、参加した機関それぞれの取組状況や課題認識について、情報共有が図られた。
- 「日本型DMO」形成の提言などにより、**広域連携の重要性が再認識され、青函関係者間の協力関係の一層の深化に寄与。**



■ 参加者の声



○ 広域連携による滞在型観光の推進やビジネス化にしっかり取り組んでいくことが最大かつ最重要テーマであると再認識した。

(地域銀行)

- 函館にとっては初めての新幹線開業、青森にとっては第3の開業となるが、引き続き、あらゆる機会を通じ、連携しながら各種事業を進めていきたい。(地方公共団体)



3. 今後の課題と北海道財務局及び函館財務事務所の対応



北海道新幹線開業PRキャラクター
どこでもユキちゃん

- 青函地域関係者の協力関係の一層の進展のため、当取組は継続的に実施していくことが重要。



- 新幹線開業後における経済効果や課題認識などについて情報交換・意見交換などを行うため、**28年5月に、2回目のフォーラムを青森市で開催予定。**



青森港(観光庁HPより)